

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座・ペルシア語専攻 講師
氏名 Name	Jahedzadeh Shorblagh Behnam
専門分野 Academic Field	ペルシア語・対照言語学

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ペルシア語の形容詞・副詞の形態論的な研究				
<p>1) 資料収集およびデータベースの作成</p> <p>A) 26 年度から取り組んでいるペルシア語で気持ちを表すさまざまな表現の収集と整理：収集した 200 あまり項目の例文や説明のさらなる整理を行う。</p> <p>B) ペルシア語の文型表現の収集と整理：これまでペルシア語の文に登場する 600 以上の文型表現を収集している。本年度から他の研究者の協力も得ており、それぞれの項目にふさわしい例文を作成し、適切な説明を加えていく。</p> <p>2) ペルシア語の統語的な研究：</p> <p>A) 他の言語との比較も視野に入れながら、ペルシア語における形容詞・副詞の形態論的な特徴と学習の困難を探る。</p> <p>B) 語順や前置詞の省略等に焦点を当て、28 年度から着目しているペルシア語の基本的な移動動詞の <i>raftan</i>（行く）と <i>amadan</i>（来る）のさらなる研究を推進する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ペルシア語 学	言語学			
キーワード Keywords*2	ペルシア語	移動動詞	文型表現	統語論	意味論